

2019 年度第 9 回執行理事会 議事録

期日：2020 年 4 月 4 日（土）12:00～13:00

場所：学会事務局（千代田区・神田）

出席者（*印は WEB 会議で出席）：松田会長・佐々木副会長・平田副会長・齋藤常務・安藤
・緒方・西*・坂口*・小宮*・磯崎・ウォリス*・岡田・辻森*・大藤・田村*・星*・廣木・中澤
欠席者（委任状提出あり，カッコ内は委任者）：

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 18 名，委任状 0 名，合計 18 名の出席

*3 月議事録確認

I 審議事項

1. 理事会審議事項の確認

1. 2019 年度事業実施概要
2. 決算概算
3. 2020 年度事業計画
4. 2020 年度予算案
5. 学会組織再編について
6. 会員管理業務効率化に関連した理事会への審議事項
7. 名誉会員候補者の選出について
8. 各賞受賞者の決定について
9. 学術大会講演要旨の電子化について
10. 「小さな ES の集い：小，中，高校生徒「地学研究」発表会」の名称変更について
11. 総会議案の決定
 - ・ 状況の推移を考慮し開催様式を変更する。総会は北とぴあでは行わず，Online で行うこととし，具体的な実施方法を検討のうえ代議員に連絡する。（成立要件：代議員の過半数（議決権行使書，委任状）
 - ・ 総会前後の理事会も Online で行うが，新理事に接続テストのため 30 分前から接続を開始してもらう。
 - ・ 総会と同日開催予定のフォトコンテストの表彰式は中止とする。審査結果はホームページで公表済。

2. 理事会報告事項の確認

II 報告事項

1. 全体的報告

- ・ 大学改革支援・学位授与機構より国立大学教育研究評価に関わる専門委員の候補者推薦に対して，書面での御礼があった。選考された専門委員一覧は評価結果が確定する令和 3 年 4 月以降に公表される。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

- ・ 第36回ゼオライト研究発表会（11/19-20 於富山国際会議場）より協賛依頼があり，承諾した。
- ・ 藤原ナチュラルヒストリー振興財団設立40周年記念公開シンポジウム「海と地球の自然史」（10/10 於東北福祉大学仙台駅東口キャンパス）への後援依頼があり，承諾した。
- ・ 2021-2020年開催藤原セミナー（開催援助）募集依頼があった（申請締切7/31）→ニュース誌，geo-flash掲載予定。
- ・ 第11回日本学術振興会育志賞受賞候補者推薦依頼があった（募集期間6/1-5，学会締切5/20）→ニュース誌，geo-flash掲載予定。
- ・ 山田科学振興財団国際学術集会開催助成の募集があった（募集期間20/4/1-21/2/28）→ニュース誌，geo-flash掲載予定。
- ・ ダイヤコンサルタント株式会社より2020年4月1日からの新役員体制の挨拶状の送付があった。
（代表取締役社長 野口康彦氏）

<会員>

1) 今月の入会者（11名）

正会員（1名）：大柳良介（除籍再入会）

正（院割）会員（9名）：岡野公希 Lu Zejin 藪田桜子 河合航汰 谷口紗英 稲葉雄一郎 梶山雄暉 池永幸平 平井貴恵

正（学部割）会員（1名） 関子田和典

2) 今月の退会者

2019年度末退会者（92名），除籍者（61名）

3) 今月の逝去者（名誉会員1名）

諏訪兼位（逝去日 2020年3月15日）

4) 2020年3月末会員数

賛助：27 名誉：44 正会員：3375 正会員：3201 正（院割）会員：158 正（学部割）会員：16
合計 3446（昨年比-56）

5) その他

2019年度版会員名簿を発行（3月号の地質学雑誌に同封して発送済）

<会計>

- ・ 2019年度決算概算・2020年度予算案

3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮）

- ・ 訃報の取り扱い：会員等の訃報に際しての広報を見直し，下記の通りとした。

- ① 正・副会長経験者，現役の理事および名誉会員が逝去された場合は geo-flash 臨時号を発行し，会員各位に周知する。また地質学会賞，国際賞受賞者についても geo-flash 定期号にて周知する。

- ② その他の会員の場合については適時各部会・支部のメーリングリストを活用し、会員各位に周知する。

4. 学術研究部会（磯崎・ウォリス・岡田・辻森）

1) 行事委員会（岡田）

・ 名古屋大会

- ▶ 市民講演会，地質情報展の科研費が採択された（4/1 付内定交付通知）．申請額 150 万に対して 120 万円交付予定．
- ▶ 名古屋大学環境学研究科へ共催が承認された．学内施設利用料は無料又は学内料金になる見込み．
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響が今後も不透明なため，学術大会の延期や中止等の判断も踏まえたリスクヘッジのため，業者や会場等のキャンセルポリシーを確認した．
- ▶ 大会中止になった場合，申込者への返金対応等が発生するため，大会中止判断時期を考慮して，参加登録の時期を例年より遅めに設定するなど工夫する．
- ▶ 大会実施の有無に関わらず，巡検案内書は地質学雑誌通常号として 6, 7 月号に予定通り印刷予定．また，下見等の予備調査費は必要に応じて支出する．

2) 国際交流委員会（ウォリス）

特になし

3) JIS, 標準担当（中澤）

特になし

4) その他

特になし

5. 編集出版部会（大藤・田村）

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（3 月 31 日現在）．

- ・ 2020 年投稿論文：24 [内訳] 論説 9（和文 8・英文 1），レター 3（和文 3），報告 3（和文 3），口絵 1（英文 1），巡検案内書 8，査読中：37，受理済み：13（うち特集号 7）
- ・ 126 卷 3 月号（通常号）論説 3 編，報告 1 編，ノート 1 編（計 52 頁，3/31 発送）
- ・ 126 卷 4 月号（通常号）論説 3 編，報告 1 編，レター 1 編（約 50 頁，入稿中）
- ・ 編集委員会新規体制（任期：2020/5/23-2022/5 月総会）（→理事会承認事項）

2) アイランドアーク編集委員会（辻森）

(1) 編集状況報告

3) 企画出版委員会（小宮）

特になし

6. 社会貢献部会（星・廣木・中澤）

・ 地震火山子どもサマースクール

- 2020年度地震火山子どもサマースクール（@浅間山ジオパーク）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により無期延期となった。新たな開催時期については運営委員会で今後検討する。また例年の地質学会からの拠出金については、行事实施に合わせて拠出することとする。
- 21年度より名称が「地震火山地質子どもサマースクール」に変更の見込み。
- 地質学会からの運営委員メンバー増員（2-3名程度）のための人選を進める。

7. 地質技術者教育委員会（佐々木）

特になし

8. ジオパーク支援委員会（平田）

特になし

9. 地学オリンピック支援委員会（星）

特になし

10. 地質災害委員会（斎藤）

特になし

11. 名誉会員推薦委員会（佐々木）

特になし

12. 地質学会の表彰に関する各賞選考委員会のあり方について

磯崎学術研究部会長と斎藤常務理事が、各賞の意義や授与対象者などの賞の特性、および各賞選考委員会の形式や選考過程について再検討した。学術研究のスタイルや成果発表様式の変化や本学会が置かれた状況を勘案して、表彰制度の見直しを行うことが必要と考え、そのための素案を作成した。各賞の見直しには運営規則の改正を伴うため、次回の理事会で見直しの方向性を提案し、次年度に規則変更を含めた改訂の具体的な検討を行って、来年の総会承認を目指す方向が報告された。

以上

2020年4月24日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長（代表理事）松田博貴

署名人 執行理事 斎藤 眞